

エコロジア第一太陽光 発電所だより vol.04



発行：2018年10月25日
株式会社エコロジア
080-5458-1477
<http://www.ecolosia.jp>

運転開始から4周年を迎えました

早いもので、エコロジア第一発電所は2018年10月15日で4周年を迎えました。

この4年間で発電した総量は、304,889kWh。これは平均的な一般家庭の年間電力使用量（4,800kWh）の63.5年分にあたります。この間、梅雨や秋雨前線の停滞や度重なる台風の襲来による日照不足がありましたが、結果的には計画発電量を上回ることができました。

10月10日には、4年ごとの定期点検を済ませ、発電所が健康であることを確認しました。これからも安定供給に努め、地元や電力購入者の皆様に長く愛されるよう心掛けていきたいと思ひます。



感謝祭のご案内

2018年11月18日（日） 参加無料

<エコロジア第一発電所>

10:30～ 施設内見学会（発電、送電のしくみの現場解説）

<エコロジアハウス永地>

11:00～ 減災対策・非常時電源確保ミニセミナー

12:00～ お楽しみバーベキュー&交流会

適当に肉、野菜、アルコール、ノンアルコール等を用意してお待ちしております。天候がよければドローンも飛ばします！

15:00 終了予定

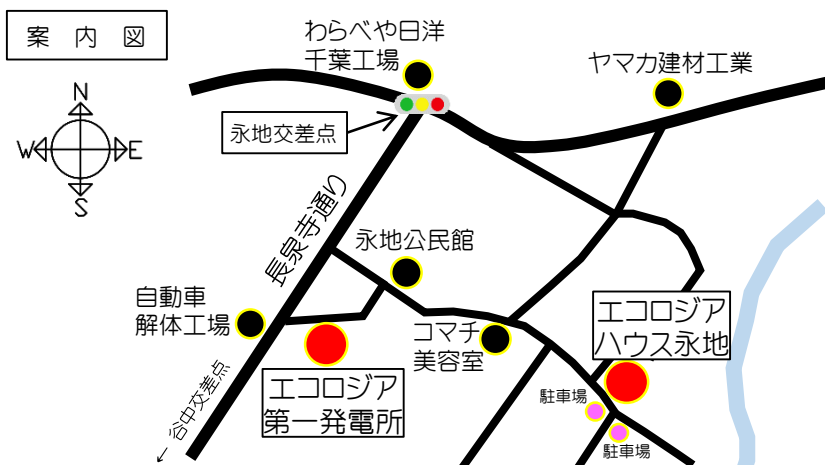
みんな電力の会員、発電所近隣のみなさま、事前連絡不要です。

上記時間帯のどこからでも適当にふらりとお立ち寄りください



場所：千葉県袖ヶ浦市永地1420番地

エコロジアハウス永地（駐車場あり）



非常時電源対策のすすめ

北海道で、まさかと思われた全域大停電が起こったことは記憶に新しいことと思います。9月6日に発生した最大震度7の大地震。大規模な土砂崩れや家屋倒壊、液状化被害とともに、停電のためテレビが映らず、重要な情報収集や連絡の手段となったスマートフォン・携帯電話の充電を求める人たちの長蛇の列も報道されました。



札幌市役所で携帯充電サービス「3時間待ち」長蛇の列（朝日新聞デジタル2018年9月7日）

10月1日に上陸、近畿から東北へ横断し、袖ヶ浦市でも恐ろしく感じた暴風（永地の発電所の風速計で最大瞬間風速40m/秒＝時速145kmを記録）をもたらした台風24号も、静岡県で電柱をなぎ倒すなどで、中部電力管内のべ119万戸で長期間停電を引き起こしました。

このような非常時こそ、住宅に設置した太陽光発電は役に立ちます。大多数の被災者の方への配慮から「うちは大丈夫だった」等の話はおおっぴらに語られませんが、**太陽光発電の自立運転モードや蓄電池、電気自動車を非常時電源として乗り切った**とか、普段どおりの生活ができたという事例は少なからずSNSなどから探すことができました。携帯電話の充電ぐらいでしたら、ソーラー充電式大容量バッテリーも有用でしょう。太陽光発電を設置しているお宅は、日光さえあればいざというときに自立運転で電気が使えることを覚えておき、ご近所にもおすそ分けしたいものです。**エコロジアの発電所ではフェンスにコミュニティコンセント（蓄電池式非常用100V電源）を常設**しています。弊社でできるご近所の方へのささやかな地域貢献です。万一の時はご活用ください。

